

かしきエンジョイマイライフ 榎の木まつり ~enjoy my life~

今年の榎の木まつりは、グループホームの開所時期に合わせて6月24日(土)に開催しました。今回のまつりのテーマは「~enjoy my life~ 生きることを楽しもう!」ということで、あったかい雰囲気のおまつりになるよう、飾り付けの輪つなぎやお花、絵をなかまみんなで作り、デザートのパケツプリンも代表のなかまで混ぜたり盛り付けたりと、なかまと職員が協力して作りました! 食事の内容はパーティーのコース料理をコンセプトに、サーモンのカルパッチョ、ピシソワーズスープ、スコッチエッグ、ポテト、グラタン、エビフライ、プリン、コロコロおにぎりとちよっとリッチな気分が味わえる見た目も楽しい内容でした☆ステージ発表は理事長のコカリナ、パンダさんのピアノのステキな演奏で始まり、みんなでソングへ!! ウィッグをかぶったり衣装を着たりして自分で選んだ歌を歌っていただきました♪ みんなで恋ダンスもしました☆恒例の抽選会も大盛況でしたよ☆当日の様子は写真をご覧ください(*^^)v



救急法研修開催 (6/7ワークスペース榎の木)

消防士の加納邦博氏を講師に招き、AEDの操作方法や心肺蘇生法の実技指導、緊急時の対処法等、とても分かりやすく講義していただきました。



きょうされん全国総会 & 国会請願行動に参加!! (5/24-25東京)

榎の木からはなかまの代表のかつくん、職員の大石が参加してきました。皆様から頂いた署名(榎の木では526筆・募金69,200円)を持って、大分県選出の国会議員の方々に紹介議員になっていただけるよう依頼をしてきました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



(参加したかつくんの感想です)
 きょうされん総会は、障害のある人が仕事を通じて社会に参画し、地域であたりまえの生活を営むことのできる権利を保障するための1人の大人として生活できることに国会に対して法律の改正の創設を毎年求めてきた。法の創設を毎年求めてきた。国会のある実態をきょうされん活動の目的と支援を求めていくことなるとも心に留めました。国会議員は議員や秘書に請願署名をまじり紹介議員になってもらう。このことしたが、僕的に1人の議員と総理に請願署名を持って伝えるのから思っていました。ピッコリしました。勉強になりました。ごめいりました。



題字: ワークスペース榎の木 中山 寿一さん

2017年 夏号 (再刊 第28号)

題字は毎号なかまが書きます。お楽しみに!

グループホームかしのき7月3日開所

榎の木は平成五年一月に法人認可受けまして、同年八月一日社会福祉法人障害者通所授産施設「ワークスペース榎の木」として発足いたしました。当時一人に対して二十三平方メートルの建物ということで、二十名の利用者さんで四百六十六平方メートルの建物を建てました。それから二十四年たちました。榎の木グループはワークスペース榎の木、どんぐりの家・榎の木ホームヘルパーステーション、今日から新たにグループホームかしのきが加わりました。利用者さん六十名の施設となりました。これもひとえに行政の暖かい支援、牧三丁目の方々、ボランティアの皆様、利用者さんとそのご家族、榎の木の職員、理事等々の努力のたまものです。

そもそも施設「榎の木の物語」をお話ししますと、きっかけは昭和六十一年に大分から門司まで障害者列車ひまわり号から始まりです。当時ひまわり号の参加者は五百五十名、その時の障害を持つ方とボランティアさんの出会いで、昭和六十一年に共同作業所「どんぐりの家」がスタートいたしました。そして八年後大きな市民運動の末、どんぐりが実って榎の木に成長したように、平成五年大分市で初めての社会福祉法人障害者通所授産施設「ワークスペース榎の木」が誕生いたしました。

木材の榎の木はブナの仲間です、どんぐりの実をならせる常緑の広葉樹です。榎の木はとも堅い木で、昔から木の歯車や鉄道の枕などに使われ人々の暮らしに役に立ってきました。このように社会福祉法人榎の木も人々の暮らしや社会の役に立ちたいと願っています。

おわりに社会福祉法人榎の木は念願のグループホームができました。これで終わることなく益々の発展をめざし、より社会に貢献できるよう頑張りたいと思います。

皆様の暖かいご支援を切にお願い申し上げます。

理事長 賀来 進



7月3日(月)13時30分より、グループホームかしのきの開所式を行いました。ご多用にもかかわらず、大分市障害福祉課課長原田耕一様をはじめ多数のご来賓、関係者の皆様のご列席くださり、誠にありがとうございました。また、グループホーム設立まで多くの皆様にご協力をいただきました。重ねて御礼申し上げます。

また、ご家族より、グループホーム設立のためになにかできないかと考え、タオルを販売した収益金を寄付していただきました。皆様のご協力に感謝です。本当にありがとうございました。



皆様のおかげで私たちは新たな生活を始めることができます。本日の開所式まで自分がこんな素敵なおところに住めるという実感がわきませんでした。しかし、出来上がったグループホームの姿を見た今、これからの生活が想像できるようになりました。楽しみでいっぱいの気持ちです。これからは施設を大切に使いながら、それぞれの生活を送っていきたく思います。

なかま代表 M.K